

大学院特別講義

(医歯学先端研究特論)(生命理工学先端研究特論)
(生命理工医療科学先端研究特論)(医歯理工学先端研究特論)

下記により大学院特別講義を行いますので、多数ご来聴下さい。

記

1. 講 師 群馬大学大学院医学系研究科 分子細胞生物学
教授 石崎 泰樹 先生
2. 演 題 血管内皮細胞を利用した白質梗塞治療法開発の試み
3. 日 時 2020年12月11日(金)17:00～19:00
4. 場 所 ZOOM
(受講希望者は11月30日までに下記アドレスにご連絡ください)
5. 要 旨

我々はラット大脳内包に白質梗塞を誘導、その部位に血管内皮細胞を移植すると、脱髄軸索の再髄鞘化が劇的に促進されることを見出した。またこの再髄鞘化促進作用はオリゴデンドロサイト前駆細胞の細胞死抑制を介していることも明らかにした。さらに血管内皮細胞の培養上清中に含まれるエクソソームには、オリゴデンドロサイト前駆細胞の生存・増殖・運動能を促進する活性があることを見出した。現在エクソソームに含まれるタンパク質の解析を進めており、その一端をご紹介したい。またヒト iPS 細胞を血管内皮細胞に分化させ、ラット白質梗塞モデルに移植すると、炎症反応が抑制され、白質梗塞の回復が促進されることも見出した。これらの知見が白質梗塞に対する治療戦略構築につながることを期待している。

連絡先: 中浜健一(分子細胞機能学分野 内線5574、nakacell@tmd.ac.jp)